

発行日 2014-12-26

改定日 2016-1-05

バージョン 2

1. 化学品及び会社情報

製品特定名
化学品の名称 ThreeBond 6635

推奨用途及び使用上の制限
推奨用途 洗浄剤

供給者情報

社名
スリーボンドファインケミカル株式会社

住所・担当部門
神奈川県相模原市緑区大山町1-1
生産技術部

緊急連絡電話番号
042-774-1333

2. 危険有害性の要約

GHS分類

皮膚腐食性及び皮膚刺激性	区分2
生殖細胞変異原性	区分 1A
発がん性	区分 1B
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分3
区分3 呼吸器刺激性, 麻酔作用。	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分2
区分2 肝臓, 精巣。 肺[吸入]。	
吸引力呼吸器有害性	区分1
水生環境有害性(急性)	区分2
水生環境有害性(長期間)	区分2

GHSラベル要素



注意喚起語

危険

危険有害性情報

H304 - 飲み込んで気道に侵入すると有害のおそれ
 H315 - 皮膚刺激
 H340 - 遺伝性疾患のおそれ
 H350 - 発がんのおそれ
 H373 - 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ
 H411 - 長期継続的影響によって水生生物に毒性
 H335 - 呼吸器への刺激のおそれ
 H336 - 眠気又はめまいのおそれ
 H373 - 長期暴露又は反復暴露により以下の臓器に障害を生じるおそれ: 肝臓, 精巣。

H373 - 吸入することによる長期暴露又は反復暴露により以下の臓器に障害を生じるおそれ： 肺[吸入]。

注意書き - 安全対策

- 使用前にラベルやSDSを確認すること。
- 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- 指定された個人保護具を使用すること。
- 取り扱い後は顔、手、露出した皮膚をよく洗うこと。
- 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
- 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
- 環境への放出を避けること。

注意書き - 応急措置

- 暴露または暴露の懸念のある場合： 医師の診断/手当てを受けること。
- 特別な処置が必要である。
- 皮膚に付着した場合： 多量の水と石鹼で洗うこと。
- 皮膚刺激が生じた場合： 医師の診断/手当てを受けること。
- 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
- 吸入した場合： 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 飲み込んだ場合： 直ちに医師に連絡すること。
- 無理に吐かせないこと。
- 漏出物を回収すること。

注意書き - 保管

- 施錠して保管すること。
- 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

注意書き - 廃棄

- 内容物/容器を承認を受けている廃棄物処理施設に廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

単一の化学物質または混合物 混合物

化学物質名	濃度又は濃度範囲(%)	化審法	安衛法番号	CAS番号
酸化アルミニウム	1-10	(1)-23	-	1344-28-1
モルホリン	<1	(5)-859	8-(7)-425	110-91-8
水、研磨剤	55-65	-	-	-
ミネラルスピリット	20-30	-	-	-

労働安全衛生法

規制区分	法文物質名	政令番号
名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9)	酸化アルミニウム	189
名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9)	ミネラルスピリット(ミネラルシンナー、ペトロリウムスピリット、ホワイトスピリット及びミネラルターベンを含む。)	551

化審法

規制区分	法文物質名	政令番号
優先評価化学物質(法第2条第5項)	モルホリン	81

4. 応急処置

- 吸入した場合** 被災者を空気の新鮮な場所に移すこと。呼吸が不規則になった場合または停止した場合には、人工呼吸を施すこと。呼吸が困難な場合には酸素吸入を行うこと。
- 皮膚に付着した場合** 汚染された衣服と靴を脱ぎ、直ちに石鹼と多量の水で洗い流すこと。皮膚の炎症やアレルギー反応が起きた場合には、医師の診断/手当を受けること。
- 眼に入った場合** 物質に接触した場合には、直ちに皮膚または眼を少なくとも20分間流水で洗うこと。

飲み込んだ場合	口をすすぐこと。医師の診断／手当てを受けること。
応急措置をする者の保護	医療関係者が物質の関与を認識し、彼ら自身の保護対策を講じていることを確認すること。

5. 火災時の措置

引火性の特性	容器は熱すると爆発することがある。
消火剤	粉末消火剤、CO ₂ 、水噴霧または通常の泡消火剤。リスクを伴わずに行えるのであれば、容器を火災区域から移動させること 消火用水を防液堤で囲い込み、後で処理すること
使ってはならない消火剤	高圧水で漏出物を散乱させてはならない。
特有の危険有害性	燃えるものもあるが容易に点火するものはない 加熱されたり火災に巻き込まれると爆発的に重合することがある 高温の状態では輸送されるものもある
特有の消火方法	消火作業を行う者は、保護具(保護眼鏡、保護衣、呼吸用保護具等)を着用して、風上から消火する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急措置	漏出物に触れたり、その上を歩いたりしないこと。リスクを伴わずに可能なら、漏出を止めること。
環境に対する注意事項	水路、下水道、地下室または閉めきった場所への侵入を防止すること。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	塵雲を防止する。
浄化の方法	清潔なシャベルを用いて物質を清潔で乾燥した容器に回収して密閉する。漏出区域から容器を移動させること。砂またはその他の不燃性吸収材料に吸収させ、容器に回収して後で廃棄する。液体漏出物を砂、土またはその他の不燃性吸収物質で覆うこと。粉末状の漏出物をプラスチックシートまたは防水シートで覆い、拡散を最小限にする。
二次災害の防止策	すべての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火災の禁止)。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い 安全取扱注意事項 技術的対策	『8. ばく露防止措置及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
局所排気、全体換気	『8. ばく露防止措置及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
保管 安全な保管条件	容器を密閉して、直射日光や火気を避け、適切な温度で保管すること。
安全な容器包装材料	保管の際には、容器を移し替えないこと。また容器から出したものを中に戻さないこと。

急性毒性

以下の値はGHS文書の第3.1章に基づいて算出された急性毒性(経口LC50) 製品としてデータなし。

毒性の数値指標 - 成分情報

化学物質名	経口LD50	経皮LD50	急性毒性(経口LC50)
酸化アルミニウム	> 5000 mg/kg (Rat)	-	-
モルホリン	= 1050 mg/kg (Rat)	310 - 810 mg/kg (Rabbit)	= 8000 ppm (Rat) 8 h

短期的及び長期的暴露による直後の影響と遅発性の影響及び慢性的影響

皮膚腐食性及び皮膚刺激性 製品としてデータなし。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 製品としてデータなし。

呼吸器感作性又は皮膚感作性 製品としてデータなし。

生殖細胞変異原性 製品としてデータなし。

発がん性 以下に表が提示される場合、本製品に含有される発がん性物質の情報を示している。表が提示されない場合製品としてデータなし。

化学物質名	日本産業衛生学会	IARC
モルホリン		Group 3

生殖毒性 製品としてデータなし。

特定標的臓器毒性、単回ばく露 製品としてデータなし。

特定標的臓器毒性、反復ばく露 製品としてデータなし。

吸引性呼吸器有害性 製品としてデータなし。

12. 環境影響情報

生態毒性
水生環境に対する急性危険有害性 製品としてデータなし。

水生環境に対する慢性危険有害性 製品としてデータなし。

生態毒性 長期継続的影響によって水生生物に毒性。

化学物質名	藻類/水生植物	魚類	甲殻類
-------	---------	----	-----

モルホリン	28: 96 h <i>Pseudokirchneriella subcapitata</i> mg/L EC50 static	350: 96 h <i>Lepomis macrochirus</i> mg/L LC50 static 1000: 96 h <i>Brachydanio rerio</i> mg/L LC50 static 375 - 460: 96 h <i>Oncorhynchus mykiss</i> mg/L LC50	100: 24 h <i>Daphnia magna</i> mg/L EC50
-------	--	---	--

残留性・分解性 製品としてデータなし。

生物蓄積性 製品としてデータなし。

土壤中の移動性 製品としてデータなし。

13 廃棄上の注意

残余廃棄物 国、都道府県、および市町村の規制に従って廃棄すること。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに依託して処理する。本製品を含む廃液及び洗浄排水を直接河川等に排出したり、そのまま埋め立てたり投棄することはしてはならない。

汚染容器及び包装 使用済みの容器・ウエス等も、残余廃棄物と同様に処理する。

14 輸送上の注意

IMO/海上規制

UN/ID番号 UN3082

品名 Environmentally hazardous substances, liquid, n.o.s.

国連分類 9

容器等級 III

EmS - No F-A, S-F

ICAO/IATA/航空規制

UN/ID番号 UN3082

品名 Environmentally hazardous substances, liquid, n.o.s.

国連分類 9

容器等級 III

ADR(EU)/陸上規制

UN/ID番号 UN3082

品名 Environmentally hazardous substances, liquid, n.o.s.

国連分類 9

容器等級 III

ERGコード 9L

環境危険有害性 あり

国内規制

国連番号 UN3082

品名 Environmentally hazardous substances, liquid, n.o.s.

国連分類 9

容器等級 III

船舶安全法 有害性物質(危規則第3条危険物告示別表第1)

民間航空法 その他の有害物質(施行規則第194条危険物告示別表第1)

15. 適用法令

消防法	指定可燃物 可燃性液体類
化審法	優先評価化学物質(法第2条第5項)
労働安全衛生法	名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9)

16. その他の情報

発行日	2014-12-26
注記	製品の特性等に関するお問い合わせは、ご購入先の営業所または株式会社スリーボンド お客様相談室までお願いします。お客様相談室 0120-56-1456

免責事項

危険有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意してください。
記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成されておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、記載事項は通常の取扱いを対象としたもので、特別な取扱いをする場合には、用途・用法に適した安全対策を実施願います。
この情報は、新しい知見及び試験等により改正されることがあります。
この安全データシートは日本国内向けに作成したものですので、無断での翻訳及び海外向けの交付はご遠慮ください。製品を海外に輸出する場合には、仕向国の法令・規制等について事前にご確認ください。